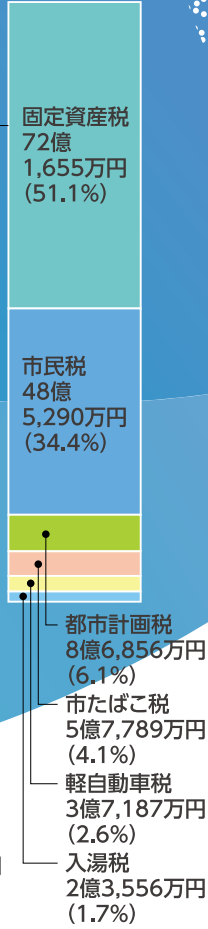
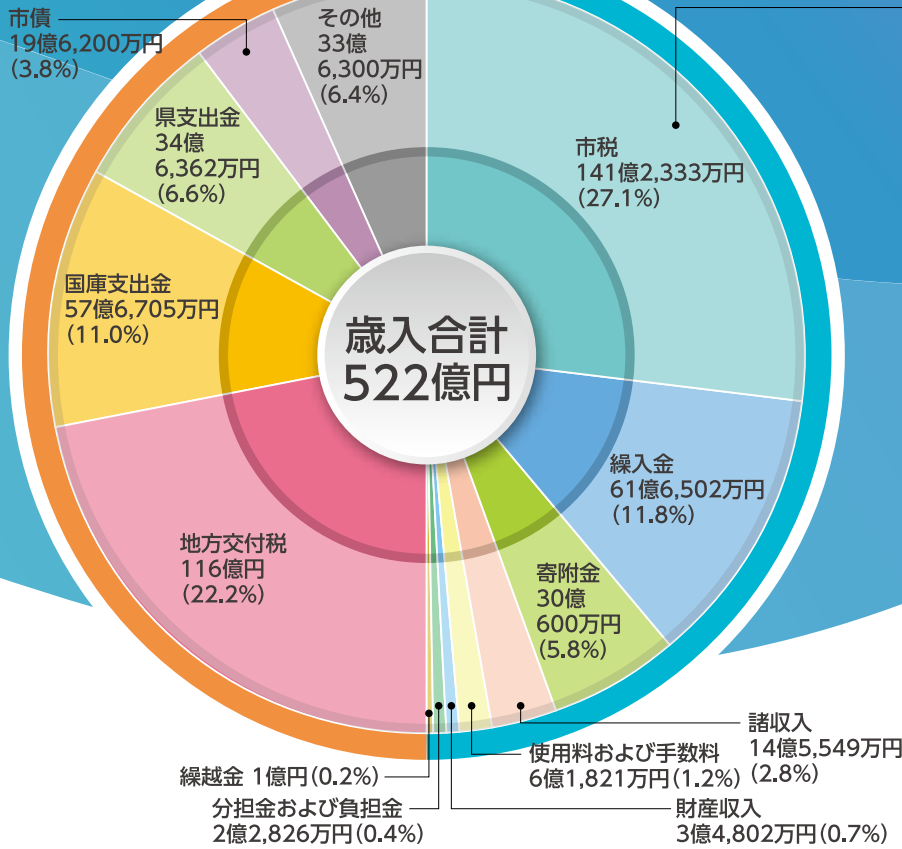


# 予算案

## 歳入

### 依存財源

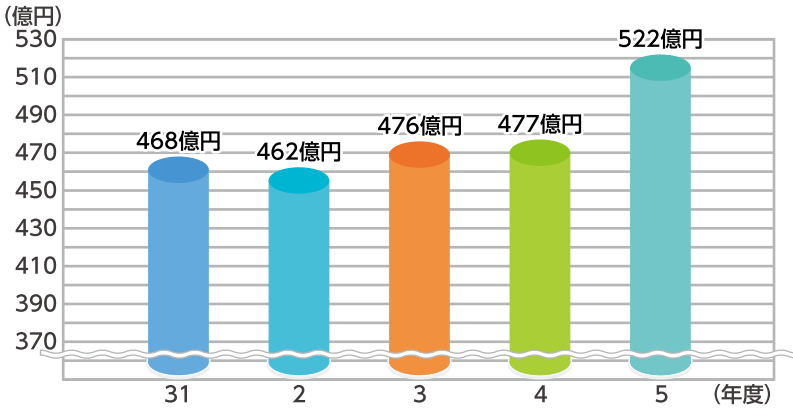
### 自主財源



「輝く市民が暮らすまち飛驒高山」を目指して  
**総額 827億円**のあらまし  
 市では、3月1日から開会する市議会定例会に、一般会計522億円、特別会計・企業会計305億円余の令和5年度予算案を提案しました。今号では予算の概要と新規・拡充事業をご紹介します。

「問合せ」財政課 ☎35-3132

### 一般会計当初予算の推移(令和5年度は予算案)



### 新年度予算案のポイント

令和5年度当初予算は、第八次総合計画・基本計画の着実な推進を基本としつつも、田中市政の基本理念である「輝く市民が暮らすまち飛驒高山」の実現を目指し、「強く!〜自然と向き合い暮らす強さ!」、「優しく!〜周りを敬うやさしさ!」、「心地よく!〜暮らす人も訪れる人も心地よいまち!」の市長公約・三本柱を十分に踏まえた予算として編成しました。

市長公約の一本目の柱「強く!〜自然と向き合い暮らす強さ!」では、若者の自主的・主体的な活動への支援や創業支援、奨学金返済支援や地元就職支援など、若者支援の取り組みを大幅に拡充するとともに、市内事業者のデジタル技術活用促進、林業事業者の高性能機械導入支援やICT技術活用促進など、各種分野におけるICT(情報通信技術)やAI(人工知能)などのデジタル技術導入の促進を図ります。また、教育旅行誘致や地域資源を活かした体験プログラム造成支援、観光プロモーション強化など、ポストコロナ社会を見据えた観光振興策にも果敢に取り組みます。

二本目の柱「優しく!〜周りを敬うやさしさ!」では、子ども医療の助成対象を15歳到達の年度末から18歳到達の年度末まで拡大するとともに、新たに保険診療の対象とならない不妊治療費(先進医療)支援や妊娠・出産・子育てを伴走型で支援する出産・子育て応援事業の実施、学校給食の食材高騰分への助成や学校給食の質の向上を図るための主食代の一部助成など、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、地域福祉を支える介護職などの人材確保に向けた取り組みも積極的に推進します。

三本目の柱「心地よく!〜暮らす人も訪れる人も心地よいまち!」では、市民と本市を訪れる人との調和を図るため、引き続き移住・定住促進や関係人口創出に取り組むほか、政策立案に向けた